Panasonic

据付場所・方法

1-1. 次のような場所での設置は避けてください。

- 温泉地帯等、硫化ガスの発生するところ
- 水や油（機械油含む）の飛散や蒸気の多いところ
- 電圧変動の大きいところ
- 電磁波を発生する機器のあるところ
- 有機溶剤の飛散するところ

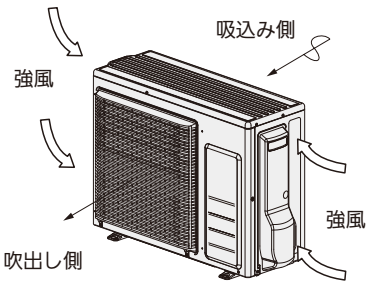
潮風が直接当たる海浜では、耐重塩害仕様のユニットを使用してください。

1-2. 運転音や吹出風で隣家に迷惑がかからないよう考慮してください。特に隣家との境界線では、「環境基本法第16条」の規定に基づく騒音に係る環境基準および「騒音規制法第4条」に基づいて定められる規制基準に適合するように設置してください。

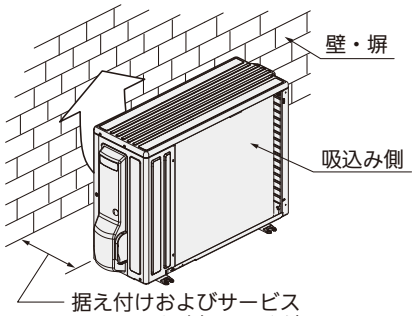
1-3. 強風の影響を受けるところに据え付ける場合は下図を参考にしてください

- 風速5m/sec以上の強風が吹出し側正面から吹き付けると、室外ユニットの風量低下や吹出した風を再度吸い込む（ショートサーキット）などで次の影響が現れます。
「能力低下」「暖房時の着霜増加」「高圧上昇による運転停止」
また室外ユニット吹出し側正面から過大な風が連続的に吹き付けた場合は、ファンが高速で逆回転し、破損するおそれがあります。
- 台風などの強風が吹出し口に吹き付けるような据え付け場所には防風板（別売品）を取り付けてください。
- 周囲に障害物がなく風向が一定している場合は風向ガイド（別売品）を取り付けてください。

吹出し方向を風向きに対して
直角に設置してください

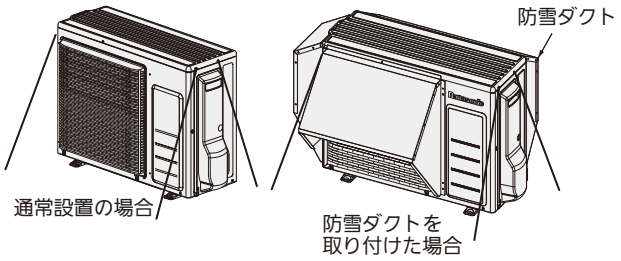


吹出し側を建物の壁・塀など
に向けてください



据え付けおよびサービス
スペースを確保してください
（PAP24-005-21-5-(01)-2～4参照）

屋上や周囲に建物がなく台風などの強風にさらされる場合は、製品をワイヤーロープ（現地調達）などで固定してください



1-4. 低外気冷房（-5℃～-15℃）で使用される場合は、別売品の防雪ダクト（側面、背面）と防風板を取り付けてください（取付方法は、別売品の説明書を参照してください）

1-5. 降雪が予想される地域では、室外ユニットの吸込み口・吹出し口や底板下部が雪で閉塞したり、内部を凍結させるおそれがありますので次のような対策をしてください。

- 防雪ダクト・防風板（別売品）、もしくは雪よけの屋根および囲いを取り付けてください。
＊防雪ダクト取付時、強風の雪で、室外ユニットの吹出し口が閉塞したり、吹出し口からユニット内部に吹き込む場合、吹出し側を防雪ダクトから防風板に切替える対策が必要な場合があります。
- 雪が吹きだまる場所への設置は避けてください。
- 架台は最大積雪量より高くし、積雪で埋もれないように設置してください。
- 室外ユニット底板の下面に氷が成長しないよう、十分な高さに設定してください。（最大積雪面より500㎜以上あけることを推奨）
- 屋根などから落下した雪やつららが室外ユニットに当たらないよう設置してください。
- 寒冷地ではドレン水が凍結しますので、ドレンソケット、ゴム栓は取り付けないでください。
また、室外ユニット周辺は水がたまらないようにしてください。

1-6. 製品の金属部および電線が、壁中にあるメタルラス、ワイヤラスまたは金属板と接触しないようにしてください。

1-7. 室内、室外ユニットおよび電源線、室内外電線はテレビ・ラジオ・パソコンなどから1m以上離して設置してください。
映像の乱れや雑音を防止するためです。
（ただし電波状態によっては1m以上離しても雑音が入る場合があります）

1-8. 工場など電圧変動の多い場所は故障の原因となりますので電源を分けるなどの対応をしてください。

品番	CU-P40, P45, P50G7B(J) CU-P56, P63G7B(J) CU-P40, P45, P50G7SB(J) CU-P56, P63G7SB(J)	設置スペース（1） XEPHY Premium （ハイグレードタイプ）
図番	PAP-24-005-21-5-(01)-1	

Panasonic

●性能確保、サービスメンテのため、必要なスペースを確保してください。
連続設置の場合、ユニット間は側面ネジを取りはずすことができるスペースを確保してください。（単位：mm）

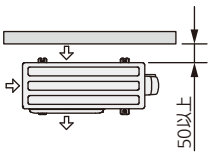
●別売品使用時の注意事項については、別売品の据付工事説明書を参照してください。

（A）吸込み側に障害物がある場合

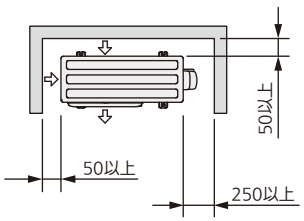
●上方が開放

①単独設置

・両側面は開放

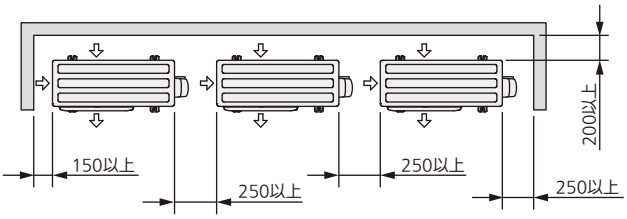


・両側面に障害物



②連続設置（２台以上）

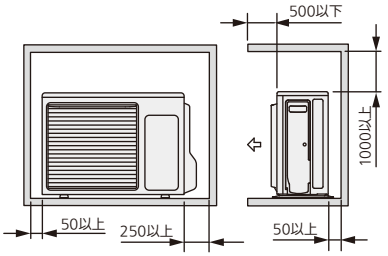
・両側面に障害物



●上方に障害物

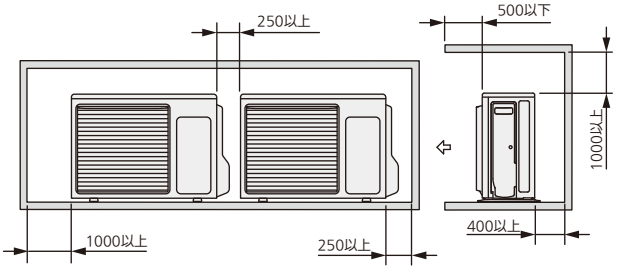
①単独設置

・両側面に障害物



< 正面 > < 側面 >

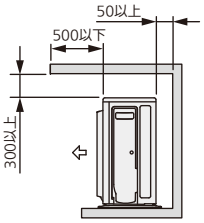
②連続設置（２台以上）



< 正面 > < 側面 >

①単独設置

・両側面は開放

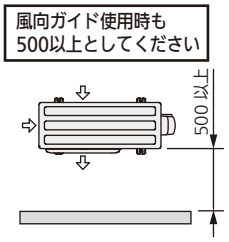


（B）吹出し側に障害物がある場合

●上方が開放

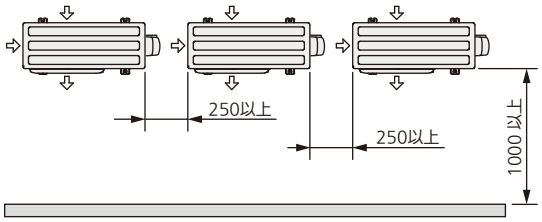
①単独設置

・両側面は開放



②連続設置（２台以上）

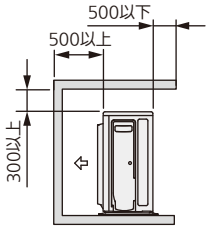
・両側面は開放



●上方に障害物

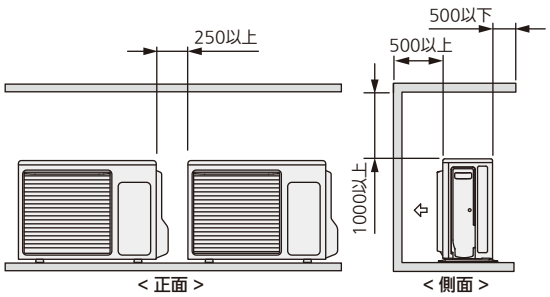
①単独設置

・両側面は開放



②連続設置（２台以上）

・両側面は開放



< 正面 > < 側面 >

品番	CU-P40, P45, P50G7B(J) CU-P56, P63G7B(J) CU-P40, P45, P50G7SB(J) CU-P56, P63G7SB(J)	設置スペース（２） XEPHY Premium （ハイグレードタイプ）
図番	PAP-24-005-21-5-(01)-2	

Panasonic

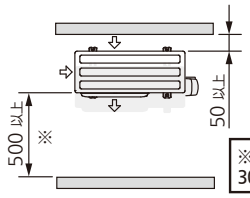
(C) 吸込み側・吹出し側に障害物がある場合

パターン 1 吹出し側の障害物が本体より高い場合（吸込み側の障害物の高さに制限はありません）

●上方が開放

①単独設置

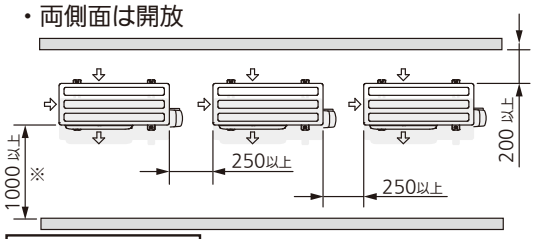
・両側面は開放



※ 風向ガイド使用時は
300以上としてください

②連続設置（２台以上）

・両側面は開放



※ 風向ガイド使用時も
1000以上としてください

●上方に障害物

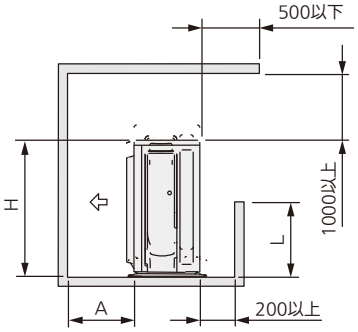
風向ガイドは
使用しないでください

・両側面は開放
・ＨとＡとＬの関係は下表のとおりです。

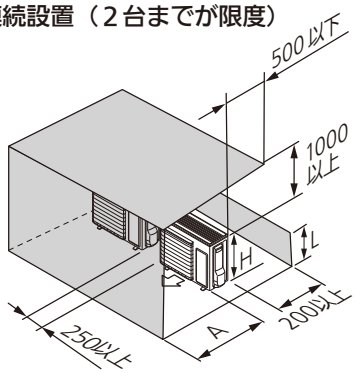
	L	A	
		① 単独設置	② 連続設置
L≦H	0＜L≦1/2H	300	500
	1/2H＜L≦H	500	750
H＜L	L≦Hになるように架台を設置		

・架台の下部は吹出し空気がバイパスしないように閉鎖してください。

①単独設置



②連続設置（２台までが限度）

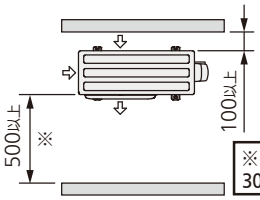


パターン 2 吹出し側の障害物が本体より低い場合 （吸込み側の障害物の高さに制限はありません）

●上方が開放

①単独設置

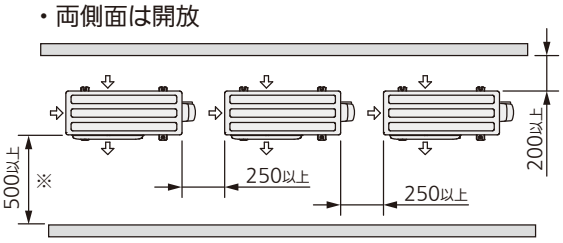
・両側面は開放



※ 風向ガイド使用時は
300以上としてください

②連続設置（２台以上）

・両側面は開放



※ 風向ガイド使用時も
500以上としてください

●上方に障害物

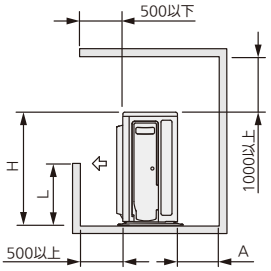
風向ガイドは
使用しないでください

①単独設置

・両側面は開放
・ＨとＡとＬの関係は
下表のとおりです。

	A
L≦H	100
H＜L	L≦Hになるように架台を設置

・架台の下部は吹出し空気がバイパスしないように閉鎖してください。

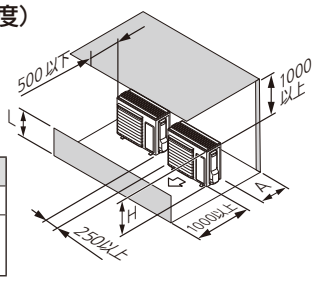


②連続設置（２台までが限度）

・両側面は開放
・ＨとＡとＬの関係は
下表のとおりです。

	A
L≦H	200
H＜L	L≦Hになるように架台を設置

・架台の下部は吹出し空気がバイパスしないように閉鎖してください。



品番	CU-P40, P45, P50G7B(J) CU-P56, P63G7B(J) CU-P40, P45, P50G7SB(J) CU-P56, P63G7SB(J)	設置スペース（３） XEPHY Premium （ハイグレードタイプ）
図番	PAP-24-005-21-5-(01)-3	

Panasonic

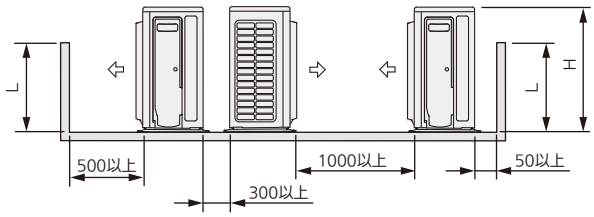
（D）前後連続設置で、吸込み側・吹出し側に障害物の場合

●上方が開放

①３台設置の場合

・両側面は開放

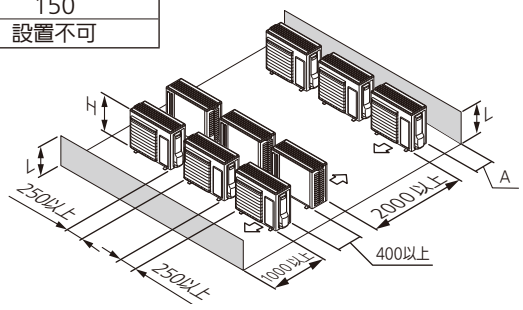
L＜H



②連続設置（複数台）の場合

・HとAとLの関係は下表のとおりです。

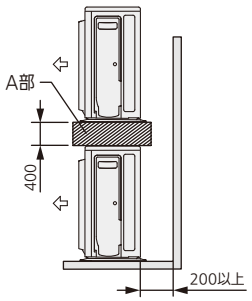
	A
L≦H	150
H＜L	設置不可



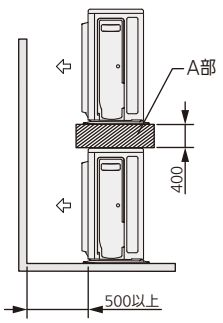
（E）段積み設置の場合

- 両側面は開放
- 段積みは２段までとしてください。
- 上段室外ユニットのドレン配管および下段室外ユニットのサービススペースとしての寸法は約 400㎜ 必要となります。
- A部（上段室外ユニットと下段室外ユニットの隙間）は吹出し空気がバイパスしないように閉鎖してください。
- 閉鎖部についてはサービススペースとして必要なため、取りはずしできるようにしてください。

①吸込み側に障害物



②吹出し側に障害物



◁

品番	CU-P40, P45, P50G7B(J) CU-P56, P63G7B(J) CU-P40, P45, P50G7SB(J) CU-P56, P63G7SB(J)	設置スペース（４） XEPHY Premium （ハイグレードタイプ）
図番	PAP-24-005-21-5-(01)-4	